

〈解答〉

- ① 1 (1) オーストラリア
 (2) B→A→D→C (完答)
 (3) 北東
 (4) ①：大西洋 ②：偏西風 ③：西岸海洋性
- 2 (1) ③：ウ ④：イ
 (2) 〔例〕外国の企業をまねき、安い賃金で多くの労働者を雇うこと

配点 ① 2(2)は2点、他は各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1(1) 地球の陸地には、ユーラシア大陸、アフリカ大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、オーストラリア大陸、南極大陸の六つの大陸がある。赤道は緯度0度の線で、この線より北側は北半球、南側は南半球という。
- (2) イギリスの首都ロンドン郊外の旧グリニッジ天文台を通る経度0度のちょうど反対側にある、経度180度にほぼ沿うかたちで引かれているのが、日付変更線である。この日付変更線の西側から1日は始まり、24時間で反時計回りに1回転(360度)している。
- (3) 1図は緯線と経線が直角に交わった地図で、方位は正しくえがかれていない。2図は中心からの距離と方位が正しい地図であるが、中心から離れるほど、陸地の形がゆがんで表される。また、中心以外の地点からの距離と方位は、必ずしも正しく表されない。2図でサンフランシスコを、中心の東京から見ると北東の方位にある。
- (4) 西岸海洋性気候は、大陸西岸のやや高緯度地域に見られ、1年中、ほぼ西からふく偏西風の影響を受ける。年間を通して、気温や降水量の変動が小さいことが特色である。西ヨーロッパは、暖流の北大西洋海流の上を通過してふきこむ偏西風の影響で、高緯度のわりに温和である。
- 2(1) インドは、外国企業の進出とともに成長し始め、現在は、情報通信技術〔ICT〕関連産業で、とくにソフトウェアの輸出が大幅に伸びている。西アジアの産油国は、原油の輸出で得られた利益を、新たな油田の開発や石油製品の生産に使うほか、交通・通信網の整備や教育などにも使っている。①はエ、②はアが当てはまる。
- (2) 経済特区とは、中国で、外国から資本や技術を導入するためにつくられた地域である。外国企業をまねき、中国側から土地、建物、労働力を提供して、経済の発展を図った。1979年から設けられ、税金を安くしたり、ある程度企業の活動の自由を認めたりした。